



輝く街づくり

市政に新たな種をまき、
芽を育てよりよい街にしよう！

< 討議資料 >
2025年7月発行



VOL. 60

たけちゃん通信

和光市議会議員
議会運営委員会委員長

吉田たけし

令和7年和光市議会6月定例会

令和7年和光市議会6月定例会(議会)が、6月5日(木)より会期22日間の日程で開会し6月26日(木)に閉会致しました。
今議会には、報告4件、議案第37号から議案第47号、最終日に議案第48号が追加され12議案が上程されました。
今回の議案については、全て賛成しました。

和光市議会では2年で委員の選任及び所属変更を行っています。今回は議長が不在のため議長選挙が行われ、その後副議長選が行われました。私は引き続き「議会運営委員会委員長」を務めることになりました。また、朝霞和光資源循環組合議会議員となりました。

議案第45号令和7年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第1号)(賛成崩論しました)

今回の補正予算では、物価高騰対応支援としてプレミアム付商品券交付事業や省エネ機器等購入費補助金が計上されました。

▶ 省エネ機器等購入費補助金について

省エネ機器等購入費補助金については、エアコン、冷蔵庫の補助として、購入価格の2分の1もしくは上限3万円のどちらか低いほうになります。照明器具は2分の1もしくは上限1万円のどちらか低いほうになります。宅配ボックスに関しましては、購入費の8割もしくは上限3万円のどちらか低いほうという条件になっております。エアコンと冷蔵庫、照明器具に関しては100件、宅配ボックスに関しては、おおむね50件を見込んでいます。

☑ コメント

この補助金の優先順位についての質問に、この補助金の受付は、基本的には先着で考えている、予算の終わりの間に殺到したものについては抽選という形を取り、公平性が担保されるような形での方法を考えている。との答弁もありました。今回の補助金は広く浅くの補助金だと認識していますが、令和7年3月31日ゼロカーボン宣言がされました。県内の多くの市町村が同様の宣言を発出しており、第3次 和光市環境基本計画の中間見直しを令和8年度に向かえる前に脱炭素社会の実現に向けた取組を加速させるための事業だと認識しています。

▶ プレミアム付商品券について

プレミアム付商品券については、今回はプレミアム率が55%で、市制施行55周年ということで55%ということで、プレミアム商品券1冊が1万円、プレミアム率が55%で1万5,500円の買物ができるということです。

☑ コメント

財源が8,000万円で、事務費経費が約20%を見込んでいて、残りの6,000万円とプレミア率55%を掛けると約1万909冊で、それを繰り上げて1万1,000冊に繰り上げたようです。お得感を出すために今回1冊1万円で5,500円のお得感を出したようですが、令和7年6月23日現在の人口84,977人中、今回のプレミアム付商品券は、1万1,000冊で市民全体の八分の一となります。今回の財源は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しています。本来この補助金は、電気・ガス代等の家庭を圧迫する高熱費等に充当されるべきだと思っています。東京都では物価高騰対策として水道料金の減免を打ち出しており、また、桶川市、北本市でも水道料金の減免を6月定例会に上程しています。今年もすでに酷暑となっており水道使用量も上昇すると考えられます。

物価高騰支援としては、市民の方に幅広く行き届かせる、水道料金の減免が公平に支援できると考えますが、今回のプレミアム付商品券は、市内小中事業者の経済活性化に繋がることと、市制施行55周年を祝い、更なる発展を願いたいと思い。また、今後物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などの補助金が出た時には、全市民に支援出来る対応と公平性が担保される補助金を実施していただきますことを期待し、賛成いたしました。

▶ 自動運転サービス導入事業について

質問	自動運転サービス導入事業の目的として、市の目指す将来像や地域課題である和光市駅から新倉PAの拠点間を結ぶ新たな交通手段の確保移動における定時制の確保や急こう配地域における高齢者等の移動のしやすさ国道254号バイパス沿線の産業集積による交通手段の確保これらの将来像達成、課題解決を目的として、外かく自動車道の側道部分を活用した「自動運転サービス」の導入を実施しています。2期社会実証の結果、どのような課題があったか。
答弁	自動運転システムの課題については、路上駐車回避や一般車との合流部による車両制御といった点が上げられます。また、車両の制動に関する課題でございますが、こちらはブレーキ、アクセルの反応の程度や急停止の衝撃が強いという点が上げられております。また、輸送力に関しまして、駅から和光北インターチェンジ周辺への移動者が増加することが想定される中、小型自動運転バスでは輸送力が不足することが課題と認識しております。
質問	自動運転サービス導入事業の目的の中に、急こう配地域における高齢者等の移動のしやすさの将来像達成の将来像とは。
答弁	今後の高齢化社会を見据えて自動運転サービスの導入を進めるとともに、全ての市民の移動の自由の確保を目指し、利便性の高い地域公共交通の維持、充実に取り組んでまいります。和光版MaaSとして自動運転バスによって地域公共交通の交通軸を構築し、そこからさまざまな移動手段と組み合わせることで利便性の高い地域公共交通網を作り上げることを目指してまいります。

✓ **コメント** 自動運転導入サービスはいいと思っていますが、2車線化は必要ないと今も思っています。今後、高齢化社会に向けての高齢者の移動のしやすさの確保が重要で、全市民の移動の自由の確保を目標としている和光版MaaS構想を和光北インターチェンジ周辺の産業拠点化を結ぶ自動運転サービスと連動させるのは難しいと考えています。全市民の移動の自由の確保を充実させる循環バス、その他の交通手段の確保の充実を今後進めていただければというふうに思います。

▶ 和光高校閉校後の活用について

質問	和光高校の閉校後の活用について
答弁	5月1日付けで埼玉県より当市に対し、利用希望について埼玉県より正式な照会がなされたところです。現在、回答期日である6月30日までに回答を行うため、企画部を中心に慎重に検討を進めているところです。検討の内容につきましては、今後の市としての意思決定や、埼玉県との協議などに影響が出ることを踏まえ、現時点においては答弁を差し控させていただきます。
質問	中学校を建設する用地確保が難しくなっています。だから、和光高校閉校後のあの用地が重要だと思っています。企画部長の中学校建設についての考えを伺います。
答弁	現時点においては新しい中学校建設について新たな検討はしておりません。また、今後多くの公共施設において老朽化が進んでおり、今後の建て替えや大規模修繕などが想定されることに加え、都市基盤整備や新しいごみ処理施設の建設など、今後の多額の投資的経費が予定されている中では、新しい中学校建設については現時点では困難なものであると認識しております。

✓ **コメント** 会派緑風会では毎回定例会終了後には埼玉県に行き和光高校閉校後の跡地について確認しています。北側地域の人は北側に中学校建設実現を諦めていません。私も、新倉・下新倉地域への中学校建設について諦めません。今後も頑張っていきます。その他、地域防災訓練について質問しました。

市政に対して関心を持ち、発信していくことが大切です。
税金の無駄遣いがないよう、皆さん一緒に市政を見守っていきましょう。
市政に対するご意見・ご要望、またなにかの時には、なんでもご遠慮なくご相談ください。皆さんと一緒に考えて行きます。



吉田たけし後援会

会長 柳下 正一

この会は、吉田たけしさんを中心に明るく、楽しく元気なまちづくりを目的に、会員相互の研修と親睦を行なっています。入会無料です。入会いただける方は下記にご記入の上、この面をFAXしていただくか、吉田たけしオフィシャルサイトより必要事項を記入の上、送信してください。

FAXの方はこちら ご記入上そのままFAXしてください。

インターネットの方はこちら

PC、スマートフォンからも可能です。



<http://takechan-yoshida.jp/new/kouenkai.html>

吉田たけしの今を伝える。
日々の活動をSNSを使って配信しております。



ホームページ



ブログ



Facebook



X